

平成 21 年 7 月 13 日

各 位

会 社 名 ミクロン精密株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 榊原 憲二  
 ( J A S D A Q ・ コード 6159 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 管理部次長 遠藤 正明  
 電 話 (023) - 688 - 8111 (代表)

## 平成 21 年 11 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 値 と の 差 異 及 び 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 21 年 1 月 9 日 に 公 表 い た し ま し た 平 成 21 年 11 月 期 ( 平 成 20 年 12 月 1 日 ～ 平 成 21 年 11 月 30 日 ) 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 値 と 本 日 公 表 の 平 成 21 年 11 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 実 績 値 に つ い て 、 下 記 の 通 り 差 異 が 生 じ ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す 。

また、通期の業績予想について下記の通り修正しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 11 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間

##### (1) 連結 平成 21 年 11 月 期 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異

(平成 20 年 12 月 1 日 ～ 平成 21 年 5 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回予想 (A)	2,463	332	360	192	81 円 67 銭
今回修正 (B)	1,789	203	263	156	65 円 68 銭
増減額 (B - A)	△673	△128	△97	△36	△15 円 99 銭
増減率	△27.4%	△38.8%	△27.0%	△18.9%	△19.6%
[ご参考]					
前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 11 月 期 第 2 四 半 期)	3,165	442	422	231	94 円 45 銭

##### (2) 修正理由

売上高につきましては、製品の売上計上基準を検収基準としていることに伴い、顧客の検収条件の一部が未達成であることから、売上が第 3 四半期連結累計期間以降に繰越となる案件が見込まれます。また、主需要先である自動車関連業界等の設備投資の抑制による、顧客の都合による納入延期要請があったこと等により、前回予想を 6 億 73 百万円下回り 17 億 89 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、得意技術を搭載した案件の売上が第 3 四半期連結累計期間以降に繰越となることから、前回予想を 1 億 28 百万円下回り 2 億 3 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、前述の営業利益の減少があるものの、生命保険解約返戻金やその他の営業外収益の計上により、前回予想を 97 百万円下回り 2 億 63 百万円となる見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、前述の経常利益の減少があるものの、過年度法人税等戻入額の計上等により、前回予想を 36 百万円下回り 1 億 56 百万円となる見込みであります。

(3) 個別 平成21年11月期 第2四半期累計期間 前期実績との差異

(平成20年12月1日～平成21年5月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期利益
前期実績(平成20年5月期)(A)	3,034	472	453	263	107円30銭
今期予想(B)	1,728	239	295	184	77円36銭
増減額(B-A)	△1,306	△233	△158	△79	△29円94銭
増減率	△43.0%	△49.4%	△34.9%	△30.1%	△27.9%

(注) 差異理由につきましては、上記1.(2)修正理由と同様であります。

2. 平成21年11月期 通期

(1) 連結 平成21年11月期通期 連結業績予想の修正

(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想(A)	3,467	65	125	68	29円29銭
今回修正(B)	2,946	154	281	151	63円91銭
増減額(B-A)	△520	89	155	82	34円62銭
増減率	△15.0%	136.4%	124.6%	119.4%	118.2%
[ご参考]					
前期実績 (平成20年11月期)	6,224	948	718	△92	△37円86銭

(2) 修正理由

売上高につきましては、主需要先である自動車関連業界や建設機械業界等の、想定を下回る生産調整や設備投資抑制の影響を受け、前回予想を 5 億 20 百万円下回り 29 億 46 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、仕入先への依存を内製化することによる製造原価の低減と、社内設備投資計画の見直しによる減価償却費の減少等、全社的なコスト削減実施効果により、前回予想を 89 百万円上回り 1 億 54 百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、生命保険解約返戻金やその他の営業外収益の計上により、前回予想を 1 億 55 百万円上回り 2 億 81 百万円となる見込みであります。

また、当期純利益につきましては、過年度法人税等戻入額の計上等により前回予想を 82 百万円上回り 1 億 51 百万円となる見込みであります。

また、平成21年6月26日に公表いたしました「子会社の清算に関するお知らせ」の今後の見直しにつきましては、清算に伴う当期業績に与える影響は軽微であり、その費用は、上述の修正予算に反映しております。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上